

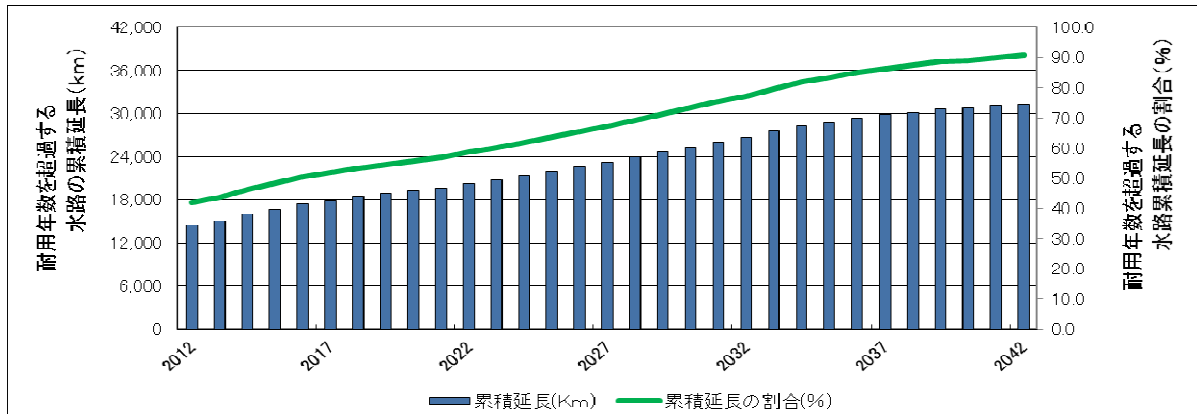
Ⅲ－1 施設機能の現状

農業水利施設の老朽化の状況と影響

これまで国や北海道が整備してきた用・排水路の総延長は34,500kmもあり、そのうち、4割以上が平成24年度時点で耐用年数を超過しており、その割合は今後さらに増加する見込みです。

◆用排水路の現状

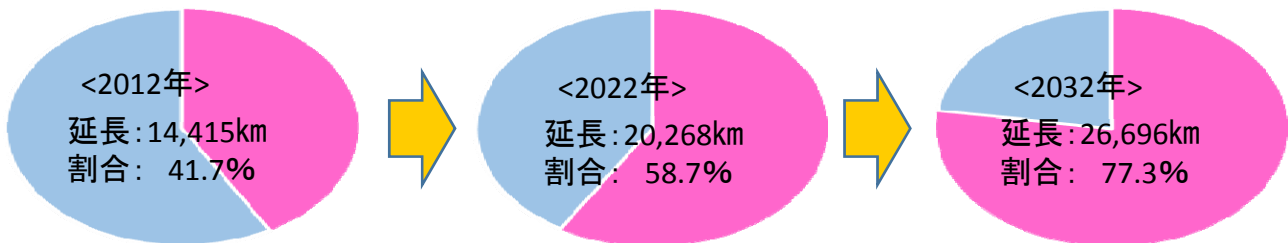
耐用年数を超過する水路の累積延長



資料：北海道農政部調べ

◆用排水路の老朽化の進行

耐用年数を超過する水路の比率



資料：北海道農政部調べ



積ブロック水路の老朽化状況



用水路からの漏水で隣接農地が湿害

- 水路施設の老朽化による機能の低下は安定した営農を妨げるだけでなく、維持補修に係る費用が農業者や地域にとって大きな負担となっています。
- 担い手の減少や高齢化が進んでいる中で、安定した農業生産を持続していくためには、老朽化した施設の計画的な整備が不可欠となっています。